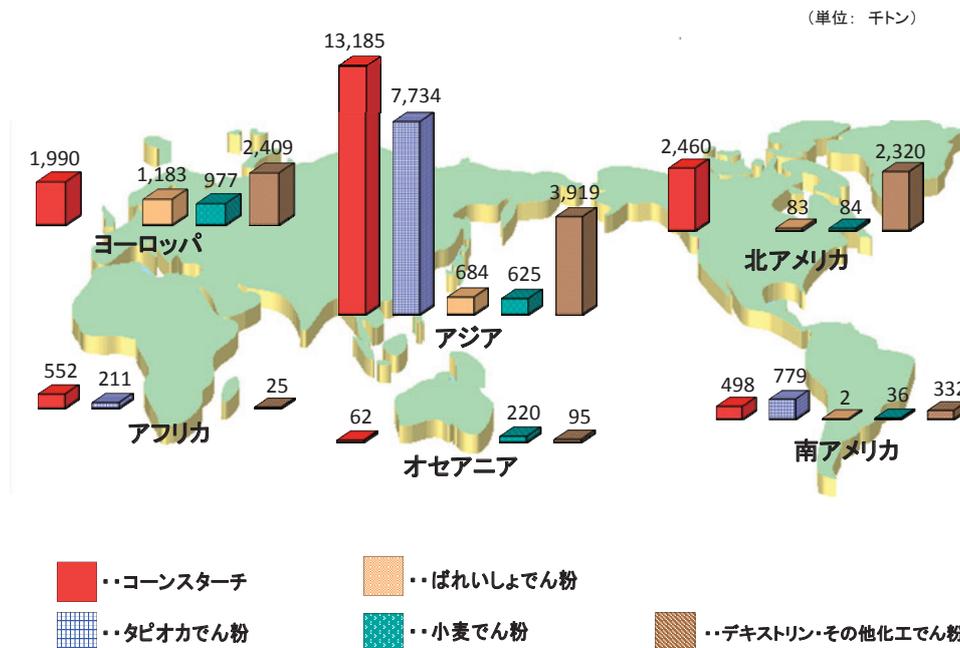


## 1. 世界のでん粉需給

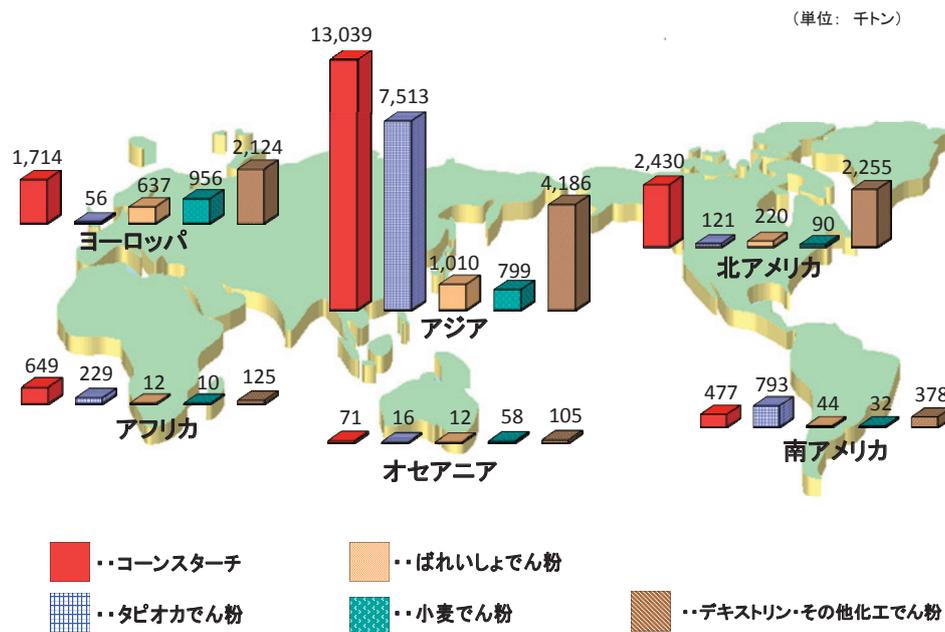
図1 絵で見る世界のでん粉生産量（2018年）



資料：LMC International \*「Global Starch Supply & Demand Research Report」を基に農畜産業振興機構作成  
 (\*農産物の需給などを調査する英国の民間調査会社)

注：ヨーロッパには、ロシアを含む。

図2 絵で見る世界のでん粉消費量（2018年）



資料：LMC International 「Global Starch Supply & Demand Research Report」を基に農畜産業振興機構作成

注：ヨーロッパには、ロシアを含む。

表1 トウモロコシ相場、キャッサバ市価

年・月	シカゴトウモロコシ・期近 (セント/BU)			タイキャッサバ (パーツ/kg)	
	高 値	安 値	平均値	キャッサバ 農家価格	チップ 卸売価格
2014年	515.75	320.75	415.91	2.10	6.76
2015年	433.50	347.75	376.57	2.16	6.78
2016年	437.75	301.50	358.36	1.52	5.66
2017年	392.25	329.50	359.29	1.40	5.14
2018年	408.50	330.25	368.07	2.38	6.85
2019年1月	383.00	371.25	378.69	2.20	6.22
2	380.75	362.00	373.79	2.17	6.00
3	379.75	352.50	366.63	2.15	6.22
4	365.25	346.75	357.70	2.11	6.30
5	436.25	342.50	379.76	1.83	6.27
6	454.75	414.75	435.23	1.65	6.43
7	449.50	400.25	427.05	1.65	6.56
8	411.00	357.00	376.24	1.72	6.58
9	388.00	340.75	362.16	1.62	6.54
10	397.75	380.25	389.77	1.70	6.37
11	389.25	362.75	373.63	1.87	6.08
12	390.00	357.75	377.92	1.99	6.07
2020年1月	393.75	375.50	385.74		5.98

資料：CME Group、タイ農業協同組合省、タイ商務省

注1：チップ卸売価格は、アユタヤ県とチョンブリー県の価格を単純平均したもの。

注2：1ブッシェル（BU）は25.401キログラム。

（シカゴトウモロコシ相場の直近のデータは、当機構ホームページの「海外情報」に掲載しています。）  
(<https://www.alic.go.jp/international/index.html>)

## 2. 日本の品目別主要輸入先国の動向

本稿中の為替レートは2020年1月末日TTS相場の値であり、1米ドル=110円（110.06円）、1タイ・パーツ=3.59円、1ユーロ=122円（121.80円）である。

### トウモロコシ・コーンスターチ

#### 米 国

#### 【需給動向：トウモロコシ】

#### 輸出量がわずかに下方修正

2020年2月時点の米国農務省（USDA）による2019/20穀物年度（9月～翌8月）のトウモロコシ需給予測によると、生産量は前月と同じ136億9200万ブッシェル（3億4779万トン、前年度比4.5%減、前月同）であった。消費関連の数値は、

国内消費量のうちエタノール向けが5000万ブッシェル上方修正されたものの、輸出量が同量下方修正されたことから、総消費量は前月と同じ140億7000万ブッシェル（3億5739万トン、同1.5%減、前月同）であった。期末在庫は前月と同じ18億9200万ブッシェル（4806万トン、同14.8%減、前月同）であった（表2）。

## 【価格動向：トウモロコシ】

### 生産者平均販売価格は前月の予測から変わらず

2019/20穀物年度のトウモロコシの生産者平均

販売価格は、前月と同じ1ブッシェル当たり3.85米ドル（424円）と予測され、3カ月修正がなかった。

表2 米国のトウモロコシの需給見通し

区 分	一単位	2017/18年度	2018/19年度 (推測値)	2019/20年度		
				(1月予測)	(2月予測)	前年度比 (増減率)
作付面積	(百万エーカー)	90.2	88.9	89.7	89.7	0.9%
収穫面積	(百万エーカー)	82.7	81.3	81.5	81.5	0.2%
単収	(ブッシェル/エーカー)	176.6	176.4	168.0	168.0	▲4.8%
国内生産量	(百万ブッシェル)	14,609	14,340	13,692	13,692	▲4.5%
輸入量	(百万ブッシェル)	36	28	50	50	78.6%
期首在庫	(百万ブッシェル)	2,293	2,140	2,221	2,221	3.8%
総供給量	(百万ブッシェル)	16,939	16,509	15,962	15,962	▲3.3%
国内消費量	(百万ブッシェル)	12,361	12,223	12,295	12,345	1.0%
飼料など向け	(百万ブッシェル)	5,304	5,432	5,525	5,525	1.7%
食品・種子・その他工業向け	(百万ブッシェル)	7,057	6,791	6,770	6,820	0.4%
エタノール向け	(百万ブッシェル)	5,605	5,376	5,375	5,425	0.9%
輸出量	(百万ブッシェル)	2,438	2,065	1,775	1,725	▲16.5%
総消費量	(百万ブッシェル)	14,798	14,288	14,070	14,070	▲1.5%
期末在庫	(百万ブッシェル)	2,140	2,221	1,892	1,892	▲14.8%
期末在庫率	(%)	14.5	15.5	13.4	13.4	2.1ポイント減
生産者平均販売価格	(米ドル/ブッシェル)	3.36	3.61	3.85	3.85	6.6%

資料：USDA/WAOB「World Agricultural Supply and Demand Estimates」

注1：年度は、9月～翌8月。

注2：1エーカーは0.4047ヘクタール。

## 【貿易動向：トウモロコシ】

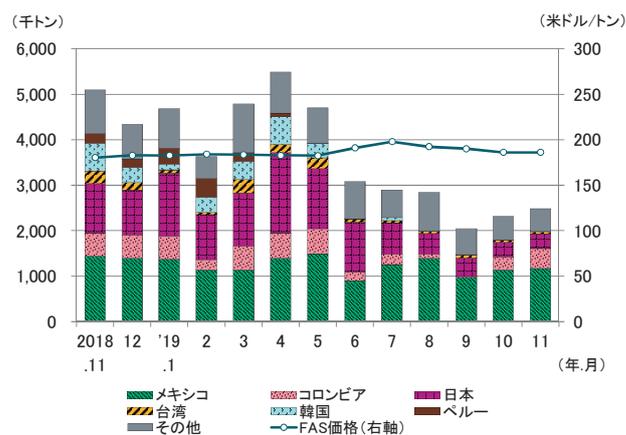
### 11月の輸出量は前年同月から大幅に減少したものの、前月からはかなりの程度増加

2019年11月のトウモロコシ輸出量は、248万5585トン（前年同月比51.2%減、前月比7.3%増）と前年同月からは大幅に減少したものの、前月からはかなりの程度増加した（図3）。同月の主要国別輸出量は、表3の通りである。

また、同月の輸出価格（FAS<sup>(注)</sup>）は、1トン当たり186.1米ドル（2万471円、同3.3%高、前月同）と前年同月からはやや上昇したものの、前月と同額であった。

（注）Free Alongside Shipの略。貨物を船側に付けた段階で支払われる価格。FOB価格と異なり、横持ち料（倉庫間の移動費）、積み込み料などは含まれない。

図3 米国のトウモロコシ輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注：HSコード100590

表3 米国のトウモロコシ輸出量（11月）

輸出先	輸出量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
合計	2,485,585	▲51.2	7.3
うち メキシコ	1,169,457	▲18.8	3.1
コロンビア	442,267	▲13.0	52.5
日本	318,633	▲70.7	▲1.8
台湾	46,839	▲83.0	16.7
韓国	2,942	▲99.5	▲22.1

資料：「Global Trade Atlas」  
注：HSコード100590

### 【貿易動向：コーンスターチ】

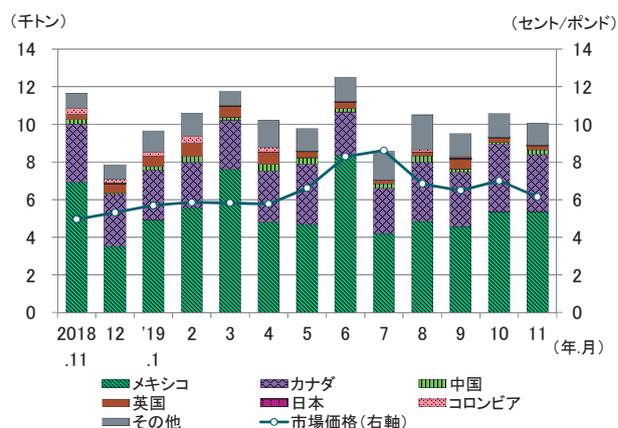
#### 11月の輸出量は前年同月からかなり大きく、前月からはやや減少

2019年11月のコーンスターチ輸出量は、1万38トン（前年同月比13.9%減、前月比5.1%減）と前年同月からはかなり大きく、前月からはやや減少した（図4）。同月の主要国別輸出量は、表4の通りである。

同月の中西部市場のコーンスターチ市場価格は、1ポンド<sup>(注)</sup>当たり6.15セント（6.8円、同24.3%高、同12.3%安）と前年同月からは大幅に上昇したものの、前月からはかなり大きく下落した。

（注）1ポンドは約0.45キログラム。

図4 米国のコーンスターチ輸出量および市場価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」、USDA/ERS

注1：HSコード110812

注2：価格は米国中西部市場における製粉業者の純費用（Net Cost）。  
なお、純費用については、トウモロコシ1ブッシェル当たり平均31.5ポンド（1キログラム当たり約0.56キログラム）のでん粉が含まれているものとして、計算されている。

表4 米国のコーンスターチ輸出量（11月）

輸出先	輸出量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
合計	10,038	▲13.9	▲5.1
うち メキシコ	5,346	▲22.8	▲0.1
カナダ	3,062	▲1.0	▲14.8
中国	241	▲5.9	3.2倍
英国	209	▲21.1	▲21.7
日本	36	—	3.6倍
コロンビア	6	▲98.0	—

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード110812

注2：日本は前年同月、コロンビアは前月輸入実績なし。

## タピオカでん粉

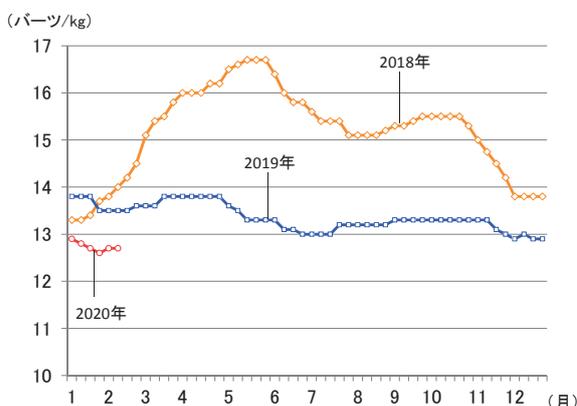
### タイ

#### 【価格動向】

#### タピオカでん粉国内価格は前年同期をやや下回る

タイタピオカでん粉協会（TTSA）によると、2020年2月第2週のタピオカでん粉の国内価格は、1キログラム当たり12.7パーツ（46円、前年同期比5.9%安、前週同）となり、2019年12月末から同12パーツ台後半で推移している（図5）。

図5 タイのタピオカでん粉国内価格の推移



資料：TTSA「Weekly Tapioca Starch Price」

注：当該週の特定期の価格。

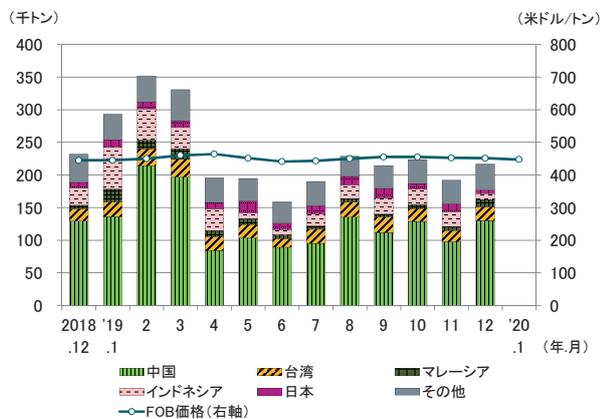
## 【貿易動向】

12月の輸出量は前年同月からかなりの程度減少したものの、前月からはかなり大きく増加

2019年12月のタピオカでん粉輸出量は、21万6714トン（前年同月比6.5%減、前月比13.1%増）と前年同月からかなりの程度減少したものの、前月からはかなり大きく増加した（図6）。同月の主要国別輸出量は、表5の通りである。

同月の輸出価格（FOB・バンコク）は、1トン当たり451.3米ドル（4万9643円、同1.4%高、同0.3%安）と、前年同月からはわずかに上昇したものの、前月からはわずかに下落した。2020年1月の輸出価格は、同447.5米ドル（4万9225円、同0.6%高、同0.8%安）と、前年同月からはわずかに上昇したものの、前月からはわずかに下落した。

図6 タイのタピオカでん粉輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」、TTSA「Weekly Tapioca Starch Price」  
注1：HSコード110814  
注2：価格はバンコクのFOB価格。

表5 タイのタピオカでん粉輸出量（12月）

輸出先	輸出量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
合計	216,714	▲6.5	13.1
うち 中国	130,221	0.9	33.8
台湾	21,109	9.5	20.8
マレーシア	11,208	2.1倍	75.3
インドネシア	8,946	▲65.8	▲60.4
日本	5,306	▲40.7	▲55.4

資料：「Global Trade Atlas」  
注：HSコード110814

## ベトナム

### 【生産動向】

12月の作付面積は前年同月からわずかに増加

ベトナムの調査会社AgroMonitorによると、農業農村開発省（MARD）の統計では2019年12月15日時点で、キャッサバが作付けされている面積は、51万9500ヘクタール（前年同月比0.7%増）と前年同月からわずかに増加した（表6）。地域別に見ると、ベトナム北部の作付面積は15万6800ヘクタール（同1.5%増）、南部の作付面積は36万2700ヘクタール（同0.4%増）となった。

同国第1位の作付面積を誇る中央高原地域のザライ省では7万3900ヘクタール（同7.7%増）、第2位の作付面積を誇る南東地域のタイニン省では5万2300ヘクタール（同6.3%増）にキャッサバが作付けされ、それぞれ前年同月からかなりの程度増加した。タイニン省の作付面積が増加した背景として、2019年にサトウキビやゴムからキャッサバへ転作の動きが見られたことが挙げられる。

表6 ベトナムのキャッサバ作付面積

（単位：ヘクタール）

		2018年12月	2019年12月	前年同月比 （増減率、%）
北 部	紅河デルタ地域 （Red River Delta）	3,969	4,000	0.8
	北部内陸山岳地域 （Northern Midland and Mountainous Region）	96,007	97,600	1.7
	北部中央地域 （North Central Region）	54,568	55,200	1.2
	小 計	154,544	156,800	1.5
南 部	南部沿岸地域 （South Central Coastal Region）	96,117	101,700	5.8
	中央高原地域 （Central Highlands）	153,272	162,700	6.2
	南東地域 （Southeastern Region）	109,200	92,000	▲15.8
	メコン河デルタ地域 （Mekong River Delta）	2,712	6,300	2.3倍
	小 計	361,301	362,700	0.4
合 計	515,845	519,500	0.7	

資料：AgroMonitor「TAPIOCA AND STARCH MARKET REPORT IN JANUARY 2020 & OUTLOOK」  
注1：原資料はベトナム農業農村開発省。  
注2：2019年12月15日時点の推定値。  
注3：四捨五入の関係から、合計と内数は必ずしも一致しない。

## 【貿易動向】

### 12月の輸出量は前年同月から大幅に、前月からはわずかに増加

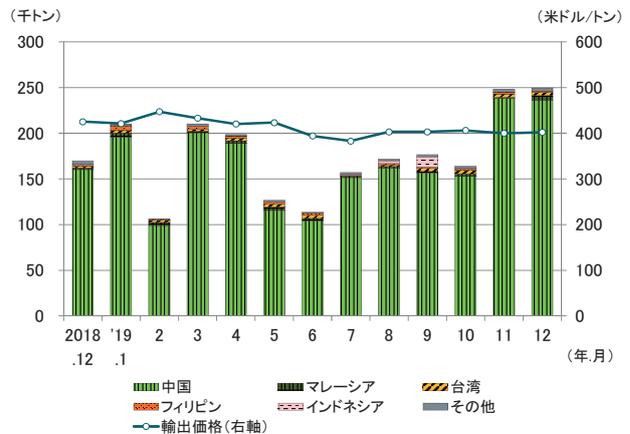
AgroMonitorによると、2019年12月のタピオカでん粉輸出量は、24万9898トン（前年同月比47.2%増、前月比0.5%増）と、前年同月からは大幅に、前月からはわずかに増加した（図7）。同国の主要国別輸出量は、表7の通りである。

表7 ベトナムのタピオカでん粉輸出量（12月）

輸出先	輸出量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
合計	249,898	47.2	0.5
うち 中国	236,147	47.8	▲0.7
マレーシア	4,977	2.2倍	4.1倍
台湾	3,466	2.0倍	▲12.0
フィリピン	1,520	31.3	▲25.5

資料：ベトナム関税総局のデータを基にAgroMonitor作成  
注：HSコード110814

図7 ベトナムのタピオカでん粉輸出量および輸出価格の推移



資料：ベトナム関税総局のデータを基にAgroMonitor作成

注1：HSコード110814

注2：価格は、中国向け輸出のCFR（Cost and Freightの略。輸入港までの海上運賃が売主の負担となり、危険負担は本船に船積みしたときに終了する契約条件）平均価格。

## ばれいしょでん粉

## E U

## 【貿易動向】

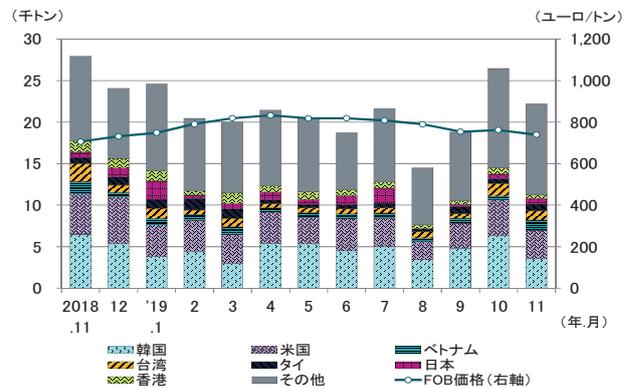
### 11月の輸出量は前年同月および前月から大幅に減少

2019年11月のばれいしょでん粉輸出量<sup>(注)</sup>は、2万2199トン（前年同月比20.5%減、前月比16.1%減）と前年同月および前月から大幅に減少した（図8）。同月の主要国別輸出量は、表8の通りである。

また、同月の輸出価格（FOB）は、1トン当たり739ユーロ（9万158円、同4.7%高、同3.0%安）と前年同月からはやや上昇したものの、前月からはやや下落した。

（注）輸出先の不明なものを除く。

図8 EUのばれいしょでん粉輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード110813

注2：輸出先の不明なものを除く。

表8 EUのばれいしょでん粉輸出量（11月）

輸出先	輸出量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
合計	22,199	▲20.5	▲16.1
うち 韓国	3,542	▲45.5	▲44.1
米国	3,425	▲29.6	▲20.5
ベトナム	1,230	▲17.2	2.7倍
台湾	1,118	▲49.0	▲26.0
タイ	786	12.6	42.6
日本	678	6.3	18.5
香港	516	▲62.5	▲28.5

資料：「Global Trade Atlas」

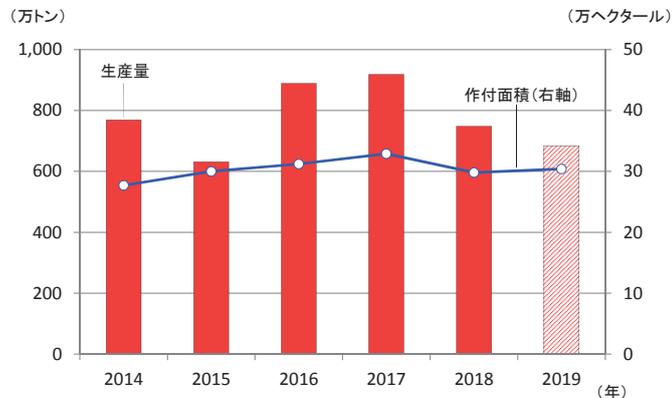
注：HSコード110813

## コラム ポーランドのばれいしょでん粉生産について

ポーランドはドイツ、フランスに次ぐEUのばれいしょ生産国である。2018年、欧州は北部を中心に干ばつに見舞われ、ポーランドのばれいしょも生育期に激しい干ばつの被害を受けた。そのため、生産量の減少が懸念されていたが、7～8月にかけての降雨と生育期間の延長により、同年のばれいしょの生産量は748万トン（前年比18.5%減）と当初の予測ほどの減少とはならなかった（コラムー図1）。

2019年における作付面積は30万4000ヘクタール（同2.0%増）とわずかに増加するものの、前年に引き続き、高温や干ばつの被害を受けて、生産量は684万トン（同8.6%減）とかなりの程度減少するとみられている。なお、でん粉原料用ばれいしょは、ばれいしょの総生産量の約11%を占めている。

コラムー図1 ポーランドのばれいしょの作付面積および生産量の推移

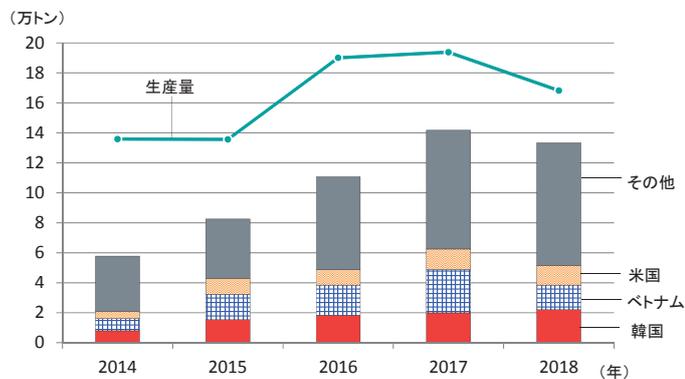


出典：ポーランド農食料経済研究所

注：2019年の生産量は、2019年時点での見通し

ポーランドでは、9社の主要企業が8月下旬から12月上旬にかけて、ばれいしょでん粉を生産している。2018年のばれいしょでん粉の生産量は16万8270トン（前年比13.2%減）となり、そのうち約78%が輸出に向けられた（コラムー図2）。輸出量は、2017年まではばれいしょでん粉の生産量の増加に伴って増加傾向にあったが、2018年は生産量の減少に伴い13万3284トン（前年比5.9%減）とやや減少した。主な輸出先は韓国、ベトナム、米国などである。

コラムー図2 ポーランドのばれいしょでん粉の生産量および輸出量の推移



出典：ポーランド農食料経済研究所、「Global Trade Atlas」

注：HSコード110813

# 化工でん粉

デキストリンおよびその他の化工でん粉（以下「化工でん粉」という）の主要輸出国の、主要仕向け先国別輸出量および輸出価格は以下の通りである。

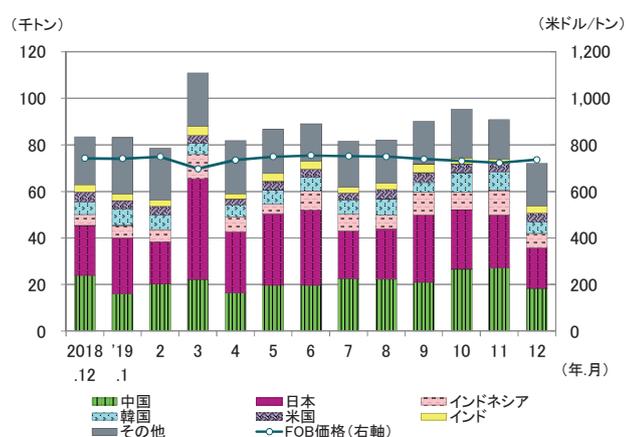
## タイ

### 【貿易動向】

12月の輸出量は前年同月からかなり大きく、前月からは大幅に減少

2019年12月の化工でん粉の輸出量は、7万2082トン（前年同月比13.6%減、前月比20.6%減）と前年同月からはかなり大きく、前月からは大幅に減少した（図9）。同月の主要国別輸出量は、表9の通りである。

図9 タイの化工でん粉の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」  
注：HSコード350510

表9 タイの化工でん粉輸出量（12月）

輸出先	輸出量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
合計	72,082	▲13.6	▲20.6
うち 中国	18,317	▲23.5	▲32.5
日本	17,480	▲18.5	▲23.4
インドネシア	6,149	33.8	▲41.0
韓国	4,955	▲8.6	▲38.3
米国	3,789	▲10.4	4.8
インド	3,139	▲4.8	81.3

資料：「Global Trade Atlas」  
注：HSコード350510

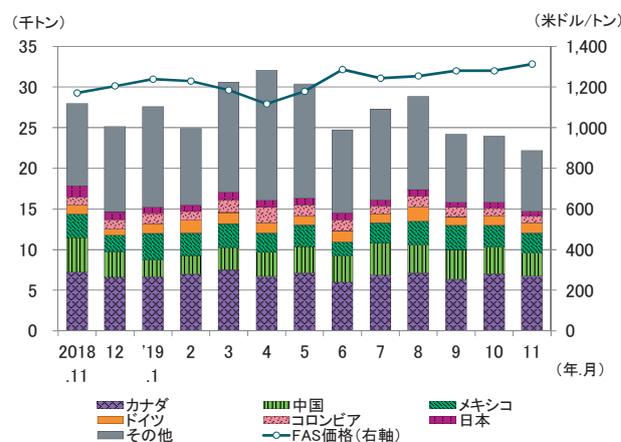
## 米国

### 【貿易動向】

11月の輸出量は前年同月から大幅に、前月からはかなりの程度減少

2019年11月の化工でん粉の輸出量は、2万2169トン（前年同月比20.7%減、前月比7.5%減）と前年同月からは大幅に、前月からはかなりの程度減少した（図10）。同月の主要国別輸出量は、表10の通りである。

図10 米国の化工でん粉の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」  
注：HSコード350510

表10 米国の化工でん粉輸出量（11月）

輸出先	輸出量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
合計	22,169	▲20.7	▲7.5
うち カナダ	6,754	▲6.6	▲4.0
中国	2,842	▲33.1	▲13.2
メキシコ	2,433	▲15.8	▲8.9
ドイツ	1,274	16.2	7.1
コロンビア	811	▲22.3	▲9.1
日本	566	▲57.0	▲26.9

資料：「Global Trade Atlas」  
注：HSコード350510

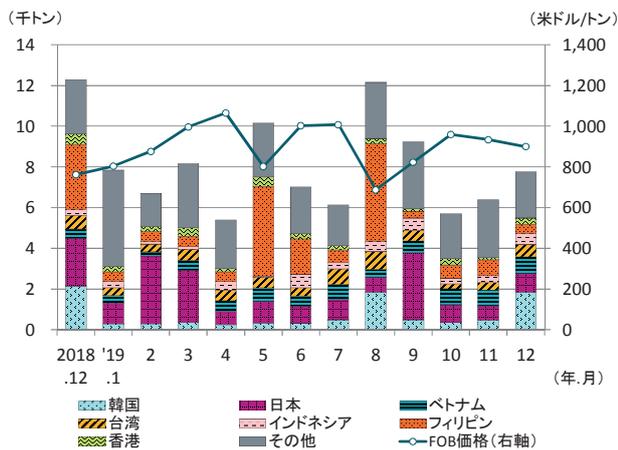
## 中国

### 【貿易動向】

12月の輸出量は前年同月から大幅に減少したものの、前月からは大幅に増加

2019年12月の化工でん粉の輸出量は、7767トン（前年同月比36.7%減、前月比21.7%増）と前年同月からは大幅に減少したものの、前月からは大幅に増加した（図11）。同月の主要国別輸出量は、表11の通りである。

図11 中国の化工でん粉の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」  
注：HSコード350510

表11 中国の化工でん粉輸出量（12月）

輸出先	輸出量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
合計	7,767	▲36.7	21.7
うち 韓国	1,858	▲13.2	4.0倍
日本	908	▲61.1	27.9
ベトナム	821	77.3	6.2
台湾	602	▲10.5	67.2
インドネシア	544	74.4	64.4
フィリピン	451	▲85.9	▲42.7
香港	303	▲38.9	2.4倍

資料：「Global Trade Atlas」  
注：HSコード350510

## EU

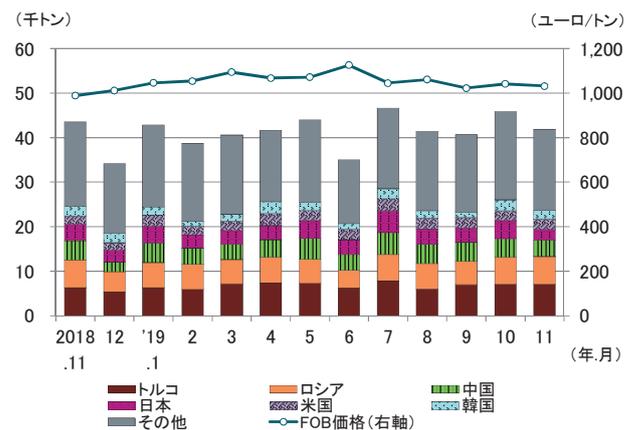
### 【貿易動向】

11月の輸出量は前年同月からやや、前月からはかなりの程度減少

2019年11月の化工でん粉の輸出量<sup>(注)</sup>は、4万1834トン（前年同月比3.8%減、前月比8.9%減）と前年同月からはやや、前月からはかなりの程度減少した（図12）。同月の主要国別輸出量は、表12の通りである。

(注) 輸出先の不明なものを除く。

図12 EUの化工でん粉の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード350510

注2：輸出先の不明なものを除く。

表12 EUの化工でん粉輸出量（11月）

輸出先	輸出量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
合計	41,834	▲3.8	▲8.9
うち トルコ	7,085	12.0	▲0.2
ロシア	6,232	0.3	3.2
中国	3,676	▲14.4	▲11.0
日本	2,430	▲33.9	▲40.8
米国	2,352	23.9	8.1
韓国	1,852	▲14.5	▲26.2

資料：「Global Trade Atlas」

注：HSコード350510

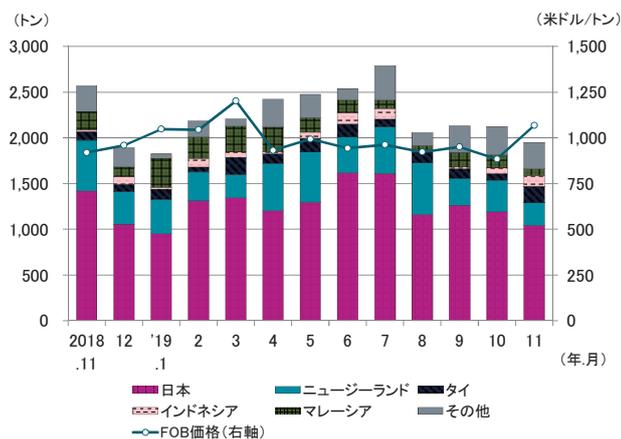
## 豪州

### 【貿易動向】

#### 11月の輸出量は前年同月から大幅に、前月からはかなりの程度減少

2019年11月の化工でん粉の輸出量は、1950トン（前年同月比24.1%減、前月比8.2%減）と前年同月からは大幅に、前月からはかなりの程度減少した（図13）。同月の主要国別輸出量は、表13の通りである。

図13 豪州の化工でん粉の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注：HSコード350510

表13 豪州の化工でん粉輸出量（11月）

輸出先	輸出量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
合計	1,950	▲24.1	▲8.2
うち 日本	1,040	▲26.7	▲12.7
ニュージーランド	252	▲54.7	▲27.2
タイ	178	85.4	2.5倍
インドネシア	116	7.3倍	90.2
マレーシア	72	▲64.2	▲50.0

資料：「Global Trade Atlas」

注：HSコード350510